

# 水辺施設あずまや『せせらぎ亭』整備について

兵庫県小野市 地域振興部道路河川課 奥田 謙二

## 1. はじめに

小野市は兵庫県の南東部に位置し、市域の東部には子午線がとおっています。神戸、大阪の都心からそれぞれ30km、60kmの距離にあり、小野市の北と南を走る高速道路、中国自動車道、山陽自動車道を利用して大阪から約1時間で来ることができます。

気候は、瀬戸内式気候に属しており、平均気温は15度程度と温暖で暮らしやすく、年間降水量は、1,200mm程度と全国的に見て少ない地域です。

市の西側には兵庫県下最大の流域を持つ一級河川加古川が北から南へ流下しており、加古川の左岸には河岸段丘が発達しています。まちの大部分は平地で、標高50m～150m程度のなだらかな丘陵地により形成されています。

また小野市には鎌倉時代に重源上人により建立された国宝浄土寺浄土堂があります。浄土堂中央には、仏師快慶作の阿弥陀三尊像が安置され、西日の差す夕刻には堂内全体が朱に染まり、阿弥陀三尊像が浮かび上がったかのような幻想的な世界を醸し出し、多くの観光客を引きつけています。

## 2. 水辺施設の整備

今回紹介する山田の里公園は、小野市の南部に位置し、鶴池、亀池を水源として山田町などの集落が点在する山間の水田を通り、加古川に合流する流路長6.9km、流域面積7.2km<sup>2</sup>の山田川において、親水や生態系に配慮した多自然型河川整備にあわせて平成10年に整備された河川緑地公園です。

河川に隣接した芝生広場や、シンボルツリーを取り囲むサークルベンチ、多目的グラウンド、トイレを設け、四季を通じて多くの市民に利用されています。



整備当時の山田の里公園



親水、生態系に配慮して整備された山田川

また、山田の里公園から下流約2kmにある市立市場小学校周辺では、国土交通省が推進する、川を生かした環境学習・自然体験活動の場を構築する「水辺の楽校プロジェクト」に登録した河川空間の整備が行われ、開校と同時に地元の自治会、学校、PTAが組織する「市場水辺の楽校推進協議会」が設立され、水辺の利活用を図るべく積極的に取り組んでいます。



水辺の楽校活動状況

この「市場水辺の楽校推進協議会」により、山田の里公園と、水辺の楽校の一体的な利用を促進するため、学校行事として水辺ふれあいマラソン大会の実施、水生植物の観察、夏には協議会主催のそうめん流し大会などが行われており、また地元集落の町民運動会や三世代交流グラウンドゴルフ大会の実施など、公園利用者が年々増加するとともに、その活動も活発化しています。

しかしながら公園の拠点施設となるべき中央部のサークルベンチは老朽化し、また既存のあずまやは





せせらぎコンサート



あずまや『せせらぎ亭』春

公園の端部に位置しているため利用勝手が悪い状況が近年みられておりました。

そこで、老朽化したサークルベンチに代わるべき拠点施設、また水辺散策の休息の場としてのあずまや設置を、(財)リバーフロント整備センターが(財)日本宝くじ協会の助成を受けて行っている「水辺施設の設置事業」として整備していただきました。



あずまや『せせらぎ亭』冬

### 3. 施設説明

前にも述べましたように、山田の里公園にはシンボルツリーを取り囲むサークルベンチがあります。枝葉を張り、大きく育ったシンボルツリーによる木陰がサークルベンチを覆い、とてもゆったりとした時間の過ごせる人気の場所となっていました。

このたびのあずまやも、サークルベンチを意識した六角形の形状とし、二代目の憩いの空間となることを願って計画・整備を行いました。

足元はインターロッキングブロック舗装を行い、中央にテーブル、その周囲にベンチ・スツールを配し、広さとしては10㎡弱の施設ではありますが、公園の中央に位置し、あずまやとしては一風変わった越屋根型を採用することで、印象的な外観となり、山田の里公園のシンボリック施設になったのではないかと思います。

### 4. 整備効果

(財)リバーフロント整備センターにおいて水辺施設を設置していただくにあたり、設置施設に名称を付ける必要がありました。市では山田の里公園、水辺の楽校を一体的に、また積極的に利用していただいている「市場水辺の楽校推進協議会」に名称設定をお願いしたところ、協議会において地域住民に公募し、選定・決定していただくこととなりました。多くの応募をいただいた中から優秀作として『せせらぎ亭』という名称を採用し、あずまや『せせらぎ亭』完成に伴う寄付・受納式当日に、優秀作・入選作の応募者の表彰を併せて行い、施設への愛着をより深いものにしていただきました。

これまで述べてきましたとおり、山田の里公園は「市場水辺の楽校推進協議会」を中心として、地域、学校等が積極的に水辺空間を利用していただく上で、中心的な公園となっています。そのような中、水辺施設あずまや『せせらぎ亭』は、新たな活動拠点として多くの市民に利用していただけるものと確信しております。

市といたしましては、あずまや『せせらぎ亭』を設置していただいたことに感謝し、今後より多くの方に利用していただけるよう、地域と一体となり維持管理に努めてまいりたいと考えます。